

カマドウマ

今年の干支「ウマ」の名前がつく生きものを紹介します。その名もカマドウマ。かまどのような暗い場所にひっそりと暮らしています。大きな後ろあしで跳ね回る姿や体の色が馬に似ていると名付けられました。

その姿や動きから嫌われることも多い本種ですが、最近の研究では、カマドウマの体に寄生したハリガネムシが秋に川の側へ誘導し、落水した本種をヤマメなどの魚が大量に食べることで、本来エサにされていた水中の川虫が食べられにくくなり、水中の藻や落ち葉の分解が進むなど、川と森の生態系をつなぐ重要な役割を果たしていることが分かってきました。

さまざまなお縁をつなげるカマドウマのように、皆さんにとっても発展や飛躍の午年となることを願っています。

